

# ながいも新品種「とがち太郎」の開発

道総研

よく太り、よくとれる、ながいも新品種「とがち太郎」を開発しました

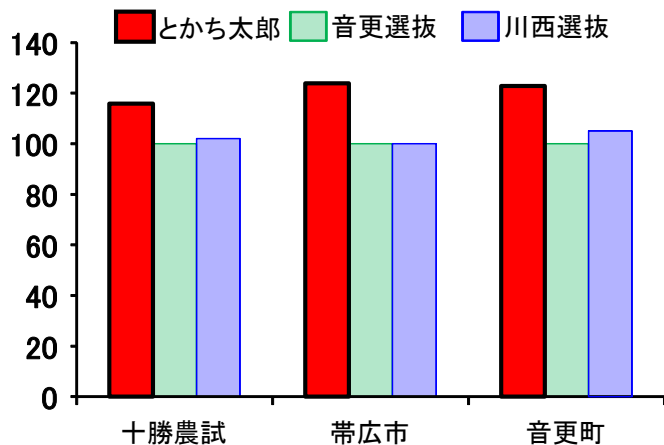
## 背景

- ながいもは収益性が高く、畑作経営上重要な位置づけにあります。
- しかし、暖地に適した植物であるため北海道では収量が不安定であります。

## 成果

1

### 地元農業団体と共同で、多収性の新品種「とがち太郎」を育成



○ 従来のながいも（音更選抜、川西選抜）より約20%多収。

2

### いも径が太く、長さは同等

品種	いもの全長 (cm)	いもの直径 (cm)	平均いも重 (g)
とがち太郎	59	7.1	1,014
音更選抜	61	6.1	876
川西選抜	62	6.4	942

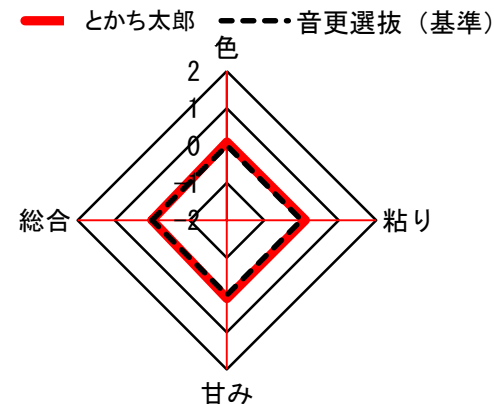
- いもの直径が約1cm太く、形状が良い。
- いもの長さは変わらないため、収穫作業性などは従来品種と同等。



写真左、上とも、中央が「とがち太郎」、左が「音更選抜」、右が「川西選抜」。

3

### 内部品質、栽培特性は従来品種と同等



- 粘りや甘みなど食味に関わる特性は同等。
- 従来と同様の栽培体系で生産可能。
- 販売・流通上、従来のながいもと同様に扱えます。

## 期待される効果

- 収量増により、ながいもの生産振興と生産者の収益アップに貢献。